

## VI 活動年表

## 活動年表(平成2年度～平成28年度)

年度	期 間	事 項
1990 (H2)	6.27	竹下広島県知事、県議会において、放射線被ばく者医療に関する情報発信、国際協力の推進についての方策を検討することを表明
	7.18	「放射線被曝者医療に係る国際協力についての懇談会」開催 出席者：広島県医師会長、広島市医師会長、広島大学原爆放射能医学研究所所長、放射線影響研究所(放影研)理事長、放射線影響研究所(放影研)常務理事、広島原爆障害対策協議会(原対協)健康管理センター副所長、広島赤十字・原爆病院副院長、広島県環境保健部長、広島市衛生局長
	9.5	「放射線被曝者医療に関する国際協力検討委員会(仮称)」準備会議開催
	10.8	「放射線被曝者医療に関する国際協力検討委員会」の発足(委員長：重松逸造：放影研理事長)、第1回会議開催。会則・組織・役員を決定。幹事会及びワーキンググループ(WG)の設置
	11.30	「放射線被曝者医療に関する国際協力検討委員会」第2回会議開催 平成3年度から同検討委員会を「放射線被曝者医療推進協議会」に改組し事業開始するよう決定。平成3年度の事業として、①研修受入、専門家派遣 ②原爆医療解説書の作成 ③情報センター機能等調査検討 ④市民に対する普及啓発の各事業の実施を決定した
	2.8	「放射線被曝者医療に関する国際協力検討委員会」第3回会議開催
1991 (H3)	4.1	放射線被曝者医療国際協力推進協議会発足
	4.8	放射線被曝者医療国際協力推進協議会第1回理事会の開催 重松理事(放影研理事長)がHICARE会長に就任 3年度の事業、協議会の英語名称、日英の略称を決定
	5.15	第1回幹事会開催。代表幹事の選出、受入研修要請案件審議
	6.1	「放射線被曝者医療に関する講演会」開催
	9.4	第2回幹事会開催。受入研修に係る経費負担基準の決定、受入研修要請案件審議、公開報告会開催の決定
	10.11	「放射線被曝事故の健康影響に関する公開報告会」開催
	12.18	第3回幹事会開催。受入研修要請案件審議、現地状況調査派遣事業の説明等
	1.16	第4回幹事会開催。受入研修要請案件審議
	1.27	第5回幹事会開催。現地状況調査派遣事業計画を決定
	3.9～18	ロシア、ウクライナ、ベラルーシにHICARE幹事他を派遣し、現地事情の調査を実施

年度	期 間	事 項
1991 (H3)	3.11～23	ブラジルにHICARE幹事他を派遣し、現地事情の調査を実施
1992 (H4)	4.13	第6回幹事会開催。代表幹事選任、平成3年度事業・決算報告案、平成4年度事業計画・収支予算案を審議
	4.15	第2回理事会開催。平成3年度事業・決算報告を承認、平成4年度事業計画・収支予算を決定
	6	「原爆放射線の人体影響1992」発行
	7.24	「放射線被曝者医療に関する講演会」開催
	7.27	第7回幹事会開催。受入研修要請案件、受入研修申請書の様式の見直しについて審議・検討
	9.24～10.4	ロシア、ウクライナにHICAREスタッフ他を派遣し、「チェルノブイリ事故の社会心理学影響に関する国際会議」への出席及び現地事情の調査を実施
	12.18	第8回幹事会開催。受入研修要請案件の審議、各ワーキンググループの活動状況の報告
	2.2	第9回幹事会開催。受入研修要請案件の審議
1993 (H5)	3.5	「放射線被曝者医療に関する講演会」開催
	4.16	第10回幹事会開催。平成4年度事業・決算報告案、平成5年度事業計画・収支予算案を審議
	4.20	第3回理事会開催。平成4年度事業・決算報告案を承認。平成5年度事業計画・収支予算案を決定
	4	「原爆放射線の人体影響1992要約版」発行
	8.25	第11回幹事会開催。被爆50周年記念事業、専門家等派遣事業、受入研修要請案件について検討・審議
	9.29～10.5	メキシコに専門家を派遣し、「第11回IPPNW世界大会」に出席（HICAREの事業概要について講演を行う）
	10.5	「放射線被曝者医療国際協力に関する講演会」開催
	10.10～15	ウクライナにHICAREスタッフを派遣し、「第2回チェルノブイリ笹川医療協力シンポジウム」への出席、現地関係機関への訪問を実施
10	「原爆放射線の人体影響1992要約版」(英語版)発行	

年度	期 間	事 項
1993 (H5)	11.4	第12回幹事会開催。専門家派遣事業及び受入研修要請案件を審議
	12.3~12	ブラジルにHICARE幹事他を派遣し、「セシウム137放射線事故に関する第2回国際シンポジウム」への出席、関係機関への訪問等を実施
	12.11~21	イタリアに専門家を派遣し、「チェルノブイリ事故後の健康影響に関する国際ワークショップ」へ出席
	12.12~22	インドにHICARE幹事を派遣し、「核医学会第25回大会および核医学シンポジウム」への出席、インドの放射線被ばくの実態調査等を実施
	1.31	「チェルノブイリ事故放射線健康影響に関する報告会」開催
	3	「放射線被曝者医療国際協力ハンドブック」第1~6集を作成、「放射線被曝者医療国際協力相手方機関専門家リスト」第1集を作成
1994 (H6)	4.19	第13回幹事会開催。平成5年度事業・決算報告案、平成6年度事業計画・収支予算案を審議
	4.21	第4回理事会開催。平成5年度事業・決算報告の承認、平成6年度事業計画・収支予算を決定
	6.24~7.9	ロシアに専門家を派遣し、「チェルノブイリ事故復旧作業従事者の健康問題に関する国際諮問会議」への出席、関係機関への訪問を実施
	7.21~29	米国にHICARE幹事他を派遣し、被爆50周年記念事業に関する調査を実施
	9.10~20	ロシア、ベラルーシにHICARE幹事他を派遣し、「第3回チェルノブイリ医療協力シンポジウム」への出席、被爆50周年記念事業に関する調査、関係機関への訪問を実施
	9.26	第14回幹事会開催。専門家派遣事業及び受入研修要請案件を審議
	10.21~30	フランスにHICARE会長を派遣し、IAEA主催パリ国際会議に出席
	11.21	「放射線被曝者医療国際協力に関する講演会」開催
	12.3~10	フランスにHICARE幹事他を派遣し、第5回REMPAN会議に出席（HICAREの活動について報告）
	1.6~14	米国にHICARE幹事他を派遣し、被爆50周年記念事業に関する連絡調整、関係者等への訪問を実施
	1.6~15	ロシアにHICARE幹事を派遣し、「国際血液学研究会」への出席、関係機関への訪問を実施

年度	期 間	事 項
1994 (H6)	1.24	第15回幹事会開催。受入研修要請案件、研修施設費の単価の変更、申請書様式の改訂について審議・検討
	3	「放射線被曝者医療国際協力ハンドブック」第7～9集を作成
1995 (H7)	4.18	第16回幹事会開催。平成6年度事業・決算報告案、平成7年度事業計画・収支予算案を審議
	4.21	第5回理事会開催。平成6年度事業・決算報告の承認、平成7年度事業計画・収支予算を決定
	4	「原爆放射線の人体影響1992」(英語版)発行
	5.21～31	ウクライナに専門家を派遣し、「チェルノブイリ核災害の精神障害—その実態と予後」に出席
	10.3～12	米国にHICARE会長他を派遣し、国際シンポジウム「広島・長崎の原爆被曝者と子供たち」への出席、関係機関への訪問を実施
	10.14	「被爆50周年記念国際シンポジウム」開催。またシンポジウムに併せてパネル展(10.14～25)を実施
	10.28～11.7	ブラジルに専門家を派遣し、「国際癌登録会議」への出席、関係機関への訪問を実施
	11.12～26	スイスにHICARE幹事他を派遣し、「チェルノブイリ及びその他の放射線事故に関する国際会議」他に出席、関係機関への訪問を実施
	1.18	第17回幹事会開催。被爆50周年記念事業記録誌、受入研修要請案件、HICARE事業の見直しについて検討・審議
	2.20	第18回幹事会開催。被爆50周年記念記録誌、HICARE5か年の活動記録誌の作成、HICARE事業の見直し等についての審議・検討
	3	「被爆50周年国際シンポジウム・パネル展報告書」の作成、「放射線被曝者医療国際協力推進協議会の歩み:1990～1995年度」の作成
	3	「HICARE紹介ビデオ」(日、英)、「放射線の人体影響・ビデオ版」(日、英)の作成
1996 (H8)	4.7～20	オーストリアへ専門家を派遣し、「チェルノブイリ事故10周年国際会議」及び「国際放射線防護学会第9回国際会議」に出席
	4.15	第19回幹事会開催。平成7年度事業・決算報告案、HICARE事業の見直し案、平成8年度事業計画・収支予算案等について審議

年度	期 間	事 項
1996 (H8)	4.23	第6回理事会開催。平成7年度事業・決算報告、HICARE事業の見直し案の承認平成8年度事業計画・収支予算等を決定
	5.13～16	スイスにHICARE幹事を派遣し、HICARE、WHO共催の国際会議及び研修生受入事業について打ち合わせ等を実施
	7.24	第20回幹事会開催。ホームページの作成、HICARE、WHO共催の国際会議、受入派遣事業の見直し等について検討
	8.2	インターネット・ホームページの開設
	8.24～25	「WHO/HICARE放射線事故と環境疫学に関する国際会議」開催 (WHOとの共催)
	9.18	第48回保健文化賞を受賞
	10.4	第21回幹事会開催。HICARE事業の見直し、保健文化賞受賞記念特別事業について検討
	11.27～12.6	スイス、インド、フィリピンにHICARE幹事他を派遣し、研修生受入事業についての調査を実施
	3.14	第22回幹事会開催。平成9年度事業計画案、保健文化賞受賞記念特別事業について審議・検討
	3	「放射線事故に学ぶ公開国際シンポジウム報告書」の作成
1997 (H9)	4.14	第23回幹事会開催。平成8年度事業・決算報告案、平成9年度事業計画・収支予算案、保健文化賞受賞記念特別事業等について審議・検討
	4.21	第7回理事会開催。平成8年度事業・決算報告、平成9年度事業計画・収支予算を決定
	5.14	鎌田理事(広島大学原爆放射能医学研究所所長)がHICARE会長に就任
	5.28～6.1	米国にHICARE幹事を派遣し、受入研修事業に関する調査を実施
	8.11	第24回幹事会開催。保健文化賞受賞記念特別事業、緩和ケア国際研修会の開催、受入研修事業等について審議・検討
	9.29～10.3	「生物学的放射線被曝線量評価に関する研修会」開催 (IAEAとの共催)
	10.15～20	インドにHICARE会長を派遣し、受入研修事業に関する調査を実施
	10.25～27	「緩和ケア国際研修会」開催(広島県との共催)
	11.5	第25回幹事会開催。保健文化賞受賞記念特別事業、平成10年度事業に関する審議・検討

年度	期 間	事 項
1997 (H9)	11.7~16	ブラジルにHICARE幹事他を派遣し、「第7回REMPAN会議」への出席、受入研修事業に関する調査を実施
	3.10	第26回幹事会開催。平成10年度事業計画・収支予算、平成10年度講演会、受入研修事業に関する審議・検討
	3	「緩和ケア国際研修会報告書」の作成
1998 (H10)	4.17	第27回幹事会開催。平成9年度事業・決算報告案、平成10年度事業計画・収支予算案等について審議・検討
	4.22	第8回理事会開催。平成9年度事業・決算報告、平成10年度事業計画・収支予算を決定
	5.29~6.10	ウクライナに専門家を派遣し、「第2回チェルノブイリ災害長期健康影響国際会議」に出席
	6.20~7.1	ロシアに専門家を派遣し、「オブニンスク線量国際会議」への出席、関係機関への訪問等を実施
	7~8	受入研修事業に関するアンケート調査の実施(対象:過去の独自受入研修生、研修生派遣元機関)
	8.28	第28回幹事会実施。平成10年度講演会、放射線測定器の購入(保健文化賞受賞記念特別事業)、受入研修要請案件、海外派遣事業等について審議・検討
	9.11~20	カザフスタンにHICARE会長他を派遣し、「放射線、生態及び健康に関する第2回国際会議」への出席、関係機関への訪問等を実施
	10.14	第29回幹事会開催。「原爆放射線の人体影響1992要約版」(ロシア語版)の作成、HICARE事業の見直し、平成11、12年度講演会、受入研修要請案件等について審議・検討
	10.19	「放射線被曝者医療国際協力に関する講演会」の開催
	10	保健文化賞受賞記念特別事業に係る放射線測定器を購入
	11.20	第30回幹事会開催。平成11年度事業計画・予算、HICARE事業の見直し、受入研修要請案件等について審議・検討
	2	「放射線被曝者医療国際協力に関する講演会—放射線から身を守るために」報告書作成
	3	HICARE紹介ビデオ(ロシア語版)作成

年度	期 間	事 項
1998 (H10)	3	「原爆放射線の人体影響1992要約版」(ロシア語版)の作成
1999 (H11)	4. 16	第31回幹事会開催。平成10年度事業・決算報告案、平成11年度事業計画・収支予算案等について審議・検討
	4. 26	第9回理事会開催。平成10年度事業・決算報告、平成11年度事業計画・収支予算等を決定
	6. 22	第32回幹事会開催。平成11年度講演会、受入研修要請案件等について審議・検討
	9. 17	真田理事(広島県医師会会長)がHICARE会長に就任
	10. 2~5	茨城県に専門家他を派遣し、臨界事故への対応の支援(被ばく線量測定、健康相談、土壌検査)を実施
	10. 5~20	カザフスタンに専門家他を派遣し、現地被ばく者医療関係者に対する技術指導を行うとともに、現地の状況及び関係機関の調査を実施
	10. 25	「放射線被曝者医療国際協力に関する講演会—放射線 知っていますか」開催
	11. 19	第33回幹事会開催。平成12年度事業・予算、平成12年度講演会等について審議・検討
	2	「放射線被曝者医療国際協力に関する講演会—放射線 知っていますか」報告書作成
	3. 22	第34回幹事会開催。平成12年度事業・予算、平成12年度講演会、原爆放射線の人体影響に関する出版物の作成等について、審議・検討
2000 (H12)	4. 18	第35回幹事会開催。平成11年度事業・決算報告案、平成12年度事業計画・収支予算案、HICARE10周年記念誌の作成、受入研修要請案件、専門家の派遣等について審議・検討
	4. 26	第10回理事会開催。平成11年度事業・決算報告、平成12年度事業計画・収支予算を決定
	5. 14	「HICARE10周年・IRPA-10開催記念市民セミナー 生活と放射線」開催(IRPA-10組織委員会と共催)
	6. 2~10	英国にHICARE幹事を派遣し、第8回 WHO REMPAN会議に出席
	7. 17	第36回幹事会開催。HICARE10周年記念誌の作成、受入研修要請案件、専門家の派遣等について審議・検討
	8. 14~22	カザフスタンに専門家を派遣し、現地被ばく者医療関係者に対する技術指導等を実施



年度	期 間	事 項
2000 (H12)	12.6	第37回幹事会開催。平成13年度事業・予算、受入研修要請案件、インターネットを活用した新規事業等について審議・検討
	3.21	第38回幹事会開催。独自受入研修事業の見直し、専門家の派遣、受入研修要請案件等について審議・検討
2001 (H13)	4.17	第39回幹事会開催。平成12年度事業・決算報告案、平成13年度事業計画・収支予算案を審議・検討
	4.23	第11回理事会開催。平成12年度事業・決算報告を承認、平成13年度事業計画・収支予算を決定
	5.31～6.12	ウクライナへHICARE幹事を派遣し、第3回国際会議「チェルノブイリ事故の健康にあたる影響：15年間のフォローアップ研究の成果」(WHO主催)への出席
	7.27	第40回幹事会開催。研修生の受入、セミパラチンスクへの医師等の派遣、講演会の開催、第5回放射線事故医療研究会・緊急被ばく医療フォーラムへの参加について審議・検討
	8.8～16	カザフスタンへ専門家を派遣し、検査技術、調査技術指導及び関係機関との情報交換を実施
	8.25	「第5回放射線事故医療研究会・緊急被ばく医療フォーラム」(茨城)に出席
	11.26	「いつでも、どこでも、だれでもが最善の医療を受けられる緊急被ばく医療体制をめざして」をテーマに講演会開催及び放射線測定体験を実施
12.4	第41回幹事会開催。研修生の受入、平成13年度事業及び予算の執行状況、平成14年度事業について審議・検討	
2002 (H14)	4.18	第42回幹事会開催。平成13年度事業・決算報告案、平成14年度事業計画・収支予算案等を審議・検討
	4.30	第12回理事会開催。平成13年度事業・決算報告を承認、平成14年度事業計画・収支予算を決定
	7.16～23	カザフスタンへ専門家を派遣し、検診技術指導、調査技術の指導、関係機関との情報交換を実施
	7.30	第43回幹事会開催。研修生の受入、WHO REMPAN会議への医師等の派遣、低線量放射線の生物影響に関する国際シンポジウムへの医師等の派遣、第6回放射線事故医療研究会・緊急被ばく医療フォーラムへの参加、講演会の開催について審議・検討

年度	期 間	事 項
2002 (H14)	8.23～9.2	スイスに専門家を派遣し、「第1回職業放射線防護国際会議：電離放射線被曝から労働者を防護するために」(IAEA主催)に出席
	8.24	「第6回放射線事故医療研究会・緊急被ばく医療フォーラム」(福井)に出席
	11.11	「緊急被ばく医療体制について考えるシンポジウム ―迅速で、実効性のある緊急被ばく医療体制をめざして―～放射線事故への対応を考える～」をテーマに講演会を開催及び放射線測定体験を実施
	12.5	第44回幹事会開催。研修生の受入、韓国への派遣、平成14年度事業及び予算の執行状況、平成15年度事業、「原爆放射線の人体影響1992」の改訂について審議・検討
	12.7～13	ロシアに専門家を派遣し、「第9回 WHO REMPAN会議(WHO主催)」へ出席
	1.14～18	韓国に事務局職員を派遣し、HICAREの事業の広報活動を実施
2003 (H15)	4.16	第45回幹事会開催。平成14年度事業・決算報告案、平成15年度事業計画・収支予算案等を審議・検討
	4.30	第13回理事会開催。平成14年度事業・決算報告を承認。平成15年度事業計画・収支予算を決定
	8.23	「第7回放射線事故医療研究会・緊急被ばく医療フォーラム」(仙台)に出席
	10.22～24	「放射生態学と環境の放射線被ばくに関する国際シンポジウム」(青森)に出席
	12.12	第46回幹事会開催。講演会の開催、研修生の受入、平成15年度事業及び予算の執行状況について審議・検討
	1.6	「日本・カザフスタン被曝者医療協力の成果と将来計画」講演会開催
	2.23～27	韓国に事務局職員を派遣し、HICARE研修生受入事業に係る事業説明を実施
	3.19～28	ロシア、ベラルーシに放射線被ばく者の被ばく線量評価の方法に関する調査及び放射線被ばく者の被ばくの実態及び健康影響に関する情報収集等を目的にHICARE幹事他を派遣
2004 (H16)	4.16	第47回幹事会開催。平成15年度事業・決算報告案、平成16年度事業計画・収支予算案等を審議・検討
	4.28	第14回理事会開催。土肥理事(広島赤十字・原爆病院長)がHICARE会長に就任。平成15年度事業・決算報告の承認、平成16年度事業計画・収支予算を決定
	5.22～6.5	ベラルーシ、ロシアに専門家を派遣し、「チェルノブイリ原発事故被災者救援事業」を実施

年度	期 間	事 項
2004 (H16)	8.19	第48回幹事会開催。研修生の受入、韓国研修フォローアップ事業の実施、カザフスタン医療支援事業、ホームページの更新について審議・検討
	8.21	「第8回放射線事故医療研究会・緊急被ばく医療フォーラム」(松山)に出席
	9.28～30	「居住実験と物質環境技術に関する国際シンポジウム」(青森)に出席
	10.9～18	ロシアにHICARE理事を派遣し、「第10回緊急被ばく医療準備ネットワーク(WHO REMPAN)国際会議」(WHO主催)へ出席
	10.22～11.1	ベラルーシに専門家を派遣し、「チェルノブイリ原発事故被災者救援事業」を実施
	11.9～13	韓国にHICARE会長他を派遣し、韓国医師等研修フォローアップ事業を実施
	11.29	第49回幹事会開催。研修生の受入、ホームページの更新、講演会の開催、韓国医師等研修フォローアップ事業等について審議・検討
	2.9	「HICARE講演会ー世界の放射線被ばくの現状を知るー」実施
	3.18	第50回幹事会開催。被爆60周年記念事業講演会・シンポジウムの開催、ホームページの更新について審議・検討
2005 (H17)	4.20	第51回幹事会開催。平成16年度事業・決算報告案、平成17年度事業計画・収支予算案、講演会の開催を審議
	4.27	第15回理事会開催。平成16年度事業・決算報告の承認、平成17年度事業計画・収支予算を決定。被爆60周年記念HICAREシンポジウムの開催について報告
	5.16～23	カザフスタンにHICARE幹事を派遣し、「カザフスタン国際反核会議」に出席
	7.15	第52回幹事会開催。研修生の受入、カザフスタンへの派遣、フォローアップアンケートの実施、ホームページのデザイン、シンポジウムの開催について検討・審議
	9.3	「第9回放射線事故医療研究会・緊急被ばく医療全国拡大フォーラム」(青森)に出席
	9.15	「被爆60周年記念放射線被ばく者医療の国際協力シンポジウム」を開催。またシンポジウムに併せてパネル展(10.14-25)を実施
	9.26～10.3	カザフスタンにHICARE幹事を派遣し、カザフスタンにおける受入研修や派遣の効果を検証し、研修生とのネットワークを再構築し、今後の支援の在り方を検討
	10.19	第53回幹事会開催。研修生の受入、ホームページの全面更新、平成18年度以降の事業展開について検討・審議

年度	期 間	事 項
2005 (H17)	11.30	「ベラルーシ、ブレスト州医療事情報告会」を広島赤十字・原爆病院と共催で開催
	1.23～27	韓国にHICARE幹事を派遣し、受入研修に関する協議及び韓国の緊急被ばく医療の拠点施設とのネットワークの構築を図る
	2.7	「第11回広島国際シンポジウム－チェルノブイリ原発事故20年とセミパラチンスクー」を広島大学原爆放射線医科学研究所(原医研)と共催。この際、カザフスタン国立放射線医学・環境研究所長からHICAREのカザフスタンへの医療支援に対する貢献に対して表彰を受ける
	2.8	第54回幹事会開催。研修生の受入、「HICARE設立15周年国際シンポジウム－チェルノブイリ原発事故20年を通して－」の実施、「チェルノブイリ20年国際会議・WHO REMPAN会議」への派遣、ベラルーシへの派遣について検討
2006 (H18)	4.19	第55回幹事会開催。平成17年度事業・決算報告案、平成18年度事業計画・収支予算案、HICARE創立15周年記念国際シンポジウムの開催等について審議
	4.19～21	ベラルーシへHICARE幹事他を派遣し、「チェルノブイリ20年国際会議」への出席
	4.24～28	ウクライナへHICARE会長を派遣し、「チェルノブイリ原発事故20年会議・WHO REMPAN合同会議」への出席
	5.10	第16回理事会開催。平成17年度事業・決算報告、平成18年度事業計画・収支予算等を決定
	7.10	外務大臣表彰。放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)に対して表彰状を授与
	8.9	第56回幹事会開催。研修生の受入、医師等の派遣、HICARE創立15周年記念国際シンポジウムの開催、ホームページの作成、「原爆放射線の人体影響1992」の改訂等について検討
	8.26	「第10回放射線事故医療研究会・平成18年度緊急被ばく医療全国拡大フォーラム」(長崎)に出席
	9.14	「HICARE創立15周年記念国際シンポジウム」開催
	10.30～11.3	韓国にHICARE幹事他を派遣し、韓国の被曝者関係医療機関・研究機関に関する協議や、研修生とのネットワーク化を図る
	11.10	中国新聞社の第63回中国文化賞を受賞
	11.13	第57回幹事会開催。ホームページの作成、上期予算執行状況と下期の対応について検討

年度	期 間	事 項
2006 (H18)	1.14~21	米国にHICARE幹事他を派遣し、在北米被爆者の医療支援の為、現地医師会、在北米被爆者支援団体、これまで受け入れた研修生等と受け入れ研修の促進について協議し、ネットワークの構築を図る
	3.2	第12回広島国際シンポジウム「セミパラチンスクにおける放射線の影響」を共催
	3.12	第58回幹事会開催。平成19年度事業計画・予算案について審議・検討
	3.19~23	モンゴルにHICARE幹事他を派遣し、モンゴルにおける放射線被ばく者医療体制の現状を調査し今後の連携を図る
2007 (H19)	4.16	第59回幹事会開催。平成18年度事業・決算報告案、平成19年度事業計画・収支予算案等について審議・検討
	4.27	第17回理事会開催。平成18年度事業・決算報告を承認、平成19年度事業計画・収支予算を決定
	8.22	第60回幹事会開催。「原爆放射線の人体影響1992」の改訂、講演会の開催について審議・検討
	8.25	「第11回放射線事故医療研究会・平成19年度緊急被ばく医療全国拡大フォーラム」(福島)に出席
	9.2~11	ベラルーシにHICARE会長他を派遣し、チェルノブイリ原発事故被災者救済事業について支援するため医師を現地に派遣
	10.8~19	ブラジルにHICARE会長他を派遣し、新たにブラジル国内において、現地医療従事者を対象とした被爆者医療に関する研修を、県の要請により、HICARE、県医師会及び県の合同で実施
	12.4	第61回幹事会開催。上期予算執行状況と下期の対応、研修生の受入、講習会の開催、寄付金の受入れ等について審議・検討
	1.24	放射線被ばく者医療の国際協力シンポジウム「ブラジルでの被爆者医療現地研修実施報告」を開催
	2.29	第13回広島国際シンポジウム「セミパラチンスクにおける放射線の影響」共催(原医研が主催)
	3.18	第62回幹事会開催。平成20年度事業計画・収支予算、研修生の受入、セミパラチンスク核実験60年に向けた取組み、「原爆放射線の人体影響1992」の改訂について審議・検討

年度	期 間	事 項
2008 (H20)	4.18	第63回幹事会開催。平成19年度事業・決算報告案、平成20年度研修生受入れ等について審議・検討
	4.30	第18回理事会開催。平成19年度事業・決算報告を承認。平成20年度事業計画・収支予算を決定
	6.17～25	ブラジルにHICARE会長他を派遣し、広島県医師会とサンパウロ州医師会間で姉妹提携を結ぶこととなり、ブラジルへの日本移民100周年を迎え、HICARE研修生間の連携強化と現地医療関係者との緊密な関係の構築を図る
	8.8～16	カザフスタンにHICARE幹事他を派遣し、「ヒロシマ・セミパラチンスク・プロジェクト」と共同で医師を現地に派遣
	8.25	第64回幹事会実施。研修生の受入れ、韓国への医師等派遣、「第12回放射線事故医療研究会」の共催等について審議・検討
	9.6	「第12回放射線事故医療研究会」(広島)を放射線事故医療研究会との共催により開催。HICARE会長が、「放射線被ばく事故とHICAREの医療支援について」報告
	12.19	第65回幹事会開催。韓国への医師等派遣の詳細、日本放射線影響学会第52回大会への参画、上期予算執行状況と下期の対応等について審議・検討
	2.2～6	韓国にHICARE幹事他を派遣し、在外被爆者医療に携わる医師等に対する効果的な研修についての協議や、韓国の被爆者医療及び緊急被ばく医療拠点とのネットワーク強化のための協議を実施
	3.26	「第14回広島国際シンポジウム 世界の被ばく者の放射線被ばくとその影響」を広島大学原医研と共催
3.31	第66回幹事会開催。平成21年度事業計画、収支予算案、平成21年度研修生の受入れ等について審議・検討	
2009 (H21)	4.17	第67回幹事会開催。平成20年度事業・決算報告案、米国への医師派遣、平成21年度HICAREシンポジウムについて審議・検討
	4.24	第19回理事会開催。平成20年度事業・決算報告を承認、平成21年度事業計画・収支予算等を決定
	7.1～2	長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(NASHIM)への調査
	8.25～9.2	カザフスタンにHICARE幹事他を派遣し、広島大学原医研と共同で、医師等を現地に派遣し、被ばく者の検診、現地医師等へ技術指導等を実施
	9.5	「第13回放射線事故医療研究会(緊急被ばく医療フォーラム)」(札幌市)に出席

年度	期 間	事 項
2009 (H21)	9.7	第68回幹事会開催。研修生の受入れ、米国での被爆者医療セミナー、HICAREシンポジウムの開催等について審議・検討
	11.13	HICARE国際協力シンポジウム「国際機関による放射線被曝者支援の近況について」開催
	12.2～9	米国にHICARE会長他を派遣し、米国医療従事者を対象に被爆者医療に関するセミナーを実施。また、現地で被爆者医療の中心となっている医師等との連携を強化し、HICARE研修への医師派遣について一層の協力体制の確立を図る
	12.25	第69回幹事会開催。積立金の活用、平成21年度予算の執行状況と今後の執行見込み等について審議・検討
	3.5	第15回広島国際シンポジウム「世界の被ばく者の放射線被ばくとその影響」を広島大学原医研と共催
	3.15	第70回幹事会開催。HICARE基金の創設、平成22年度事業計画・収支予算案、平成22年度研修生の受入れについて、審議・検討
2010 (H22)	4.26	第71回幹事会開催。平成21年度事業・決算報告案、平成22年度研修生の受入れ、『原爆放射線の人体影響1992』改訂版作成について審議・検討
	4.27～30	韓国にHICARE幹事を派遣し、韓国・原子力医学院(KIRAMS)が主催した「第1回緊急被ばく国際会議」に出席
	4.28	第20回理事会開催。平成21年度事業・決算報告、平成22年度事業計画・収支予算を決定
	6.30	第72回幹事会開催。研修生の受入れ、『原爆放射線の人体影響1992』改訂版の進捗状況、IAEAとの協働事業等について審議・検討
	8.6	IAEAとHICAREの協働に関する覚書締結式。IAEA事務局長とHICARE会長により覚書に署名がなされ、放射線被ばく者医療分野に関する事業を協働で進めていくことになった。HICARE構成機関視察(広島赤十字・原爆病院、放影研、広島大学原医研、緊急被ばく医療推進センター)
	9.4	「第14回放射線事故医療研究会(緊急被ばく医療フォーラム)(青森)に出席
	10.25	第73回幹事会開催。韓国への医師等派遣事業、平成22年度予算の上半期執行状況と今後の執行見込み、HICAREの今後のあり方、IAEAとの協働事業に関する提案等について審議・検討
	2.1～4	長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(NASHIM)を訪問し、事業の連携について協議

年度	期 間	事 項
2010 (H22)	2.22～25	韓国にHICARE理事他を派遣し、HICARE研修への協力体制の維持、在韓被爆者医療に携わる医師等に対する効果的な研修についての協議や、放射線の人体影響についての最新知見のセミナーの実施
	3.16～22	福島県知事から広島県知事に対し、原子力発電所関係の事故に関して、放射線技師、看護師等の派遣について緊急要請があったことを受けて、HICAREが放射線量測定チームを編成し派遣(派遣先:福島県須賀川市ほか5市町村)。現地では、福島県県中保健福祉事務所・保健所と合同で避難所を巡回し、サーベイメータによるスクリーニング、健康相談業務等を実施
	3.16	第74回幹事会開催。平成23年度事業計画、収支予算、研修生の受入れ、IAEAとの協働事業、HICAREの今後のあり方について審議・検討
2011 (H23)	4	第75回幹事会開催(書面審議)。平成23年度事業計画・収支予算案、研修生の受入れ、IAEAとの協働事業等について審議・検討
	4.27	第21回理事会開催。平成22年度事業・決算報告、平成23年度事業計画・収支予算を決定。IAEAとの協働事業、NASHIMとの連携事業について審議・検討
	6.14	東京電力福島第一原子力発電所事故における放射線被ばくに関する提言(首相官邸)
	6.25	第76回幹事会開催。HICAREホームページ、IAEAとの協働事業、「原爆放射線の人体影響1992」改訂版の発行、NASHIMとの連携推進、福島第一原子力発電所事故による被災地支援、広島県薬剤師会主催「県民公開講座」への講師派遣について審議・検討
	8.3～6	IAEA原子力科学・応用局ヒューマンヘルス部長の招聘。HICARE構成機関の訪問、共同記者会見、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式への参列等
	8.27	「第15回放射線事故医療研究会」(埼玉)に出席
	9.15～16	IAEA応用放射線生物学・放射線療法部放射線生物学者の招聘。HICARE構成機関の訪問、「IAEA加盟国における「生物学的線量測定」の強化」におけるHICAREとIAEAとの共同研究について協議
	10.31～11.5	IAEA・HICARE連絡会議等によるIAEA訪問。協働事業(共同研究、人材育成)についてIAEA各担当部局との連絡会議、セミナーの実施、インターンとの意見交換等を実施
	11.23～24	「放射線の人体影響～放射線被ばく者医療の国際的なネットワークの確立に向けて～」をテーマに国際シンポジウムを開催
	11.24	長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(NASHIM)を訪問・協議
2.22～26	米国ハワイ州にHICARE会長他を派遣し、HICARE研修への医師等派遣について一層の協力体制の確立を図るためセミナーを実施	



年度	期 間	事 項
2011 (H23)	3.20~25	IAEA・HICARE共同研究に係るIAEA訪問。協働事業(共同研究「IAEA加盟国における生物学的線量評価の強化」)の第1回研究連絡会議出席
	3.28	第77回幹事会開催。平成24年度事業計画及び予算案、ワーキンググループの設置、医師等受入研修事業・専門家派遣事業、HICAREホームページのリニューアル、IAEAとの協働事業の評価の実施について審議・検討
	3	「原爆放射線の人体影響【改訂第2版】」の作成
2012 (H24)	4.16	第78回幹事会開催。平成23年度事業・決算報告案、平成24年度基金会計事業計画・収支予算案、IAEAとの協働事業の実績・進捗状況、「原爆放射線の人体影響【改訂第2版】」、福島県県民健康管理調査、第20回IPPNW世界大会への協力等を審議・検討
	4.25	第22回理事会開催。平成23年度事業・決算報告を承認。平成24年度事業計画・収支予算を決定。IAEAとの協働事業の評価の実施、「原爆放射線の人体影響【改訂第2版】要約版(日本語版)」作成、国際シンポジウムの報告書、HICAREパンフレット作成、ホームページリニューアルについて審議・検討
	4.25	碓井理事(広島県医師会長)がHICARE会長に就任
	5.23	IAEA原子力科学・応用局ヒューマンヘルス部チェム部長の招聘。IAEA-HICARE覚書の更新に向けた協働事業実績報告書説明会、今後の取組についての確認等
	6.20	大久保理事(放影研)がHICARE会長に就任
	7.2~4	HICARE幹事が協働事業(共同研究「放射線による循環器・脳血管疾患のリスク評価」)の研究顧問会議出席
	7.9~13	IAEA・IEC(緊急事態センター)研修プログラムによりIAEAを訪問し、HICARE幹事等が参加
	8.22	「平成24年度学校給食モニタリング事業研修会」に講師派遣。「放射線による健康及び食品への影響」について講演
	9.8	「第16回放射線事故医療研究会・緊急被ばく医療フォーラム」(千葉)に出席
	2.9~10	「NASHIM20周年記念及び原研50周年記念合同シンポジウム」へ会長他を講演のために派遣。NASHIMとの協働事業として開催する翌週のセミナーの打合せを実施
	2.19~21	韓国にHICARE会長他を派遣し、NASHIMと共同で、韓国で被爆者治療に従事している医師等医療関係者に対し、広島・長崎の被ばく者医療の最新の知見とともに、福島第一原子力発電所事故への対応や健康影響についてのセミナー等を実施
	2.25~27	放射線健康リスク管理福島国際学術会議へ参加

年度	期 間	事 項
2012 (H24)	3.18~22	HICARE幹事がIAEAとの協働事業(共同研究「生物学的線量評価の強化」)の進め方についての連絡会議に出席、及びIEC研修プログラムに講師として参加
	3.28	第79回幹事会開催。平成24年度予算執行状況(決算見込)、平成25年度事業計画及び予算案、平成25年度医師等受入研修事業、HICAREホームページの掲載内容等について審議・検討
	3	「原爆放射線の人体影響【改訂第2版】」要約版をホームページに掲載
2013 (H25)	4.16	第80回幹事会開催。平成24年度事業・決算報告案、平成25年度事業計画・収支予算案等を審議・検討
	4.24	第23回理事会開催。平成24年度事業・決算報告を承認。平成25年度事業計画・収支予算を決定。IAEAとの協働事業の進捗状況等について審議・検討
	6.10~14	「21世紀における生物学的線量評価研修会」をIAEAとの共催で開催
	8.24	「第1回日本放射線事故・災害医学会」(広島)でHICARE会長が講演
	10.1~12.31	IAEAへのインターンの派遣。ヒューマンヘルス部応用放射線生物学・放射線治療科へ医師・研究者等を目指す学生を1名派遣
	10.28~11.1	IAEAと共催で「緊急被ばくに関する国際医療研修会」を開催
	11.8	第81回幹事会開催。今後のIAEAとの協働事業や記念事業の方向性、IAEAとの協働、平成25年度事業の進捗状況、平成26年度事業計画・予算編成について審議・検討
	12.25	第24回理事会開催。IAEAとの協働(協働センターの指定申請)について審議・検討
	1.21~23	韓国にHICARE幹事他を派遣し、大韓赤十字社及び韓国原子力医学院(KIRAMS)を訪問し、意見交換と連携強化を図った。またサムスン病院において、「原爆放射線の人体影響」や「放射線治療」に関するセミナーを実施
	2.14	「平成25年度放射線被曝医療セミナー」を実施。被爆者援護施策や放射線の人体影響等に関するセミナーを被爆者医療等に従事する医師等を対象に実施。(原子爆弾被爆者指定医療機関等医師研究会と共同開催)
	2.20	IAEAとの協働関係をステップアップし、国際貢献・情報発信の更なる充実・強化を図るため、IAEA協働センターの指定申請を行った
	3.19~21	IAEA・HICARE共同研究に係るIAEA訪問。「生物学的線量評価」「緊急被ばく医療」に関する協働事業の今後の展開の協議等

年度	期 間	事 項
2014 (H26)	4.17	第82回幹事会開催。平成25年度事業・決算報告案、平成26年度事業計画・収支予算案等を審議、協働センターの運営体制等について審議・検討
	4.23	第25回理事会開催。平成25年度事業、決算報告の承認、平成26年度事業計画・収支予算を決定。協働センターの運営体制等について審議・検討
	5	国内では、放射線医学総合研究所(千葉市)に次いで2か所目(世界では22か所目)となるIAEA協働センターに指定された。指定期間は平成26年(2014年)5月12日～平成29年(2017年)5月11日、協働分野は、「Capacity Building in Radiation Effects and Human Health(放射線の影響と人の健康に関する人材育成)」
	5.26	IAEA協働センターの指定記念式典を開催しIAEAヒューマンヘルス部長より認証プレートを受領するとともに、記念講演会を開催
	6.9～15	被ばくした放射線量を把握する生物学的線量評価のために技術力向上と、IAEA加盟各国の研究機関のネットワークの強化を目的とした、第2回研究共同会議へHICARE幹事他を派遣
	10.27	第83回幹事会開催。代表幹事の選出、70年記念事業、受入研修の見直し、平成26年度事業の進捗状況等について審議・検討
	1.19～22	IAEA・アジア原子力地域協力協定に基づく地域研修コース～最先端の放射線治療技術～をIAEAと共催により開催
	3.16～20	IAEA・HICARE共同研究に係るIAEA訪問。「生物学的線量評価」、「緊急被ばく医療」に関する協働事業の今後の展開の協議等
2015 (H27)	4.21	第84回幹事会開催。平成26年度事業・決算報告案、平成27年度事業計画・収支予算案、IPPNW(核戦争防止国際医師会議)地域会議とHICARE被爆70年事業のコラボレーションについて審議・検討
	5.1	第26回理事会開催。平成26年度事業・決算報告を承認、平成27年度事業計画・収支予算を決定。IPPNW(核戦争防止国際医師会議)地域会議とHICARE被爆70年事業のコラボレーションについて審議・検討
	5	IAEA協働センターの指定に係る実績報告
	10.5～1.4	IAEAへのインターンの派遣。ヒューマンヘルス部応用線量計測・医療放射線物理科へ医師・研究者等を目指す学生を1名派遣
	11.12	IAEAヒューマンヘルス部長が来広。関係機関の視察と役員との意見交換を実施
	2.14～21	IAEA・HICARE共同研究に係るIAEA訪問。今後の協働事業の展開について協議

年度	期 間	事 項
2015 (H27)	2.27~28	原爆被爆70年事業-被爆者医療体験の継承と国際貢献-をテーマにIPPNW日本支部と共催で国際シンポジウムを開催(原子爆弾被爆者指定医療機関等医師研究会と共同開催)。またシンポジウムに併せてパネル展を実施
	3.5~3.13	被ばくした放射線量を把握する生物学的線量評価のための技術力向上と、IAEA加盟各国の研究機関のネットワークの強化を目的とした、第3回研究共同会議へHICARE幹事他を派遣
2016 (H28)	4.20	第85回幹事会開催。平成27年度事業・決算報告案、平成28年度事業計画・収支予算案、HICARE設立25周年事業、IAEA協働センターリエゾンオフィサーの選任について審議・検討
	4.28	第27回理事会開催。平成27年度事業・決算報告を承認、平成28年度事業計画・収支予算を決定。HICARE設立25周年事業、IAEA協働センターリエゾンオフィサーの選任について審議・検討
	5	IAEA協働センターの指定に係る実績報告
	7.11~15	Clinical application of biodosimetry のコンサルタントミーティングへHICARE幹事を派遣
	7.14	JICA平和教育研修生を受け入れ、研修を実施
	8.11~12	NASHIMが実施した「チェルノブイリ・カザフスタン関連国医師へのヒバクシャ医療」研修生をHICARE構成機関で受け入れ、研修を実施
	9.4~7	韓国にHICARE幹事他を派遣し、大韓赤十字社及び韓国原子力医学院(KIRAMS)を訪問。意見交換し連携強化を図った
	10.1~12.31	IAEAへのインターンの派遣。IAEA原子力科学・応用局ヒューマンヘルス部応用放射線生物学・放射線治療科へ医師・研究者等を目指す学生を1名派遣
	11.9	HICARE設立25周年を記念し、県民・市民を対象にこれまでの研究や取組と今後の展望を報告する「HICARE25周年記念講演会」を開催
	1.20	第86回幹事会を開催。HICARE25周年記念誌の作成状況について審議・検討
	1.30~2.3	IAEA-HICARE協働センターによる先進的放射線治療に関する国際医療研修を開催
	2.10	IAEAヒューマンヘルス部長が来広。関係機関役員との意見交換を実施
	2.20~22	IAEA・HICARE共同研究に係るIAEA訪問及びIAEA協働センターの指定更新について協議